

平成20年度
文部科学省先導的大学改革推進委託事業

「アジア・太平洋地域における大学間交流等の拡大」

最終報告書

平成21年3月

研究代表者
上別府隆男
(東京女学館大学)

目次

はじめに

第1章 エラスムス計画及びエラスムス・ムンデユス計画の展開、成果及び課題	1
第2章 欧州高等教育の質保証にエラスムス及びボローニャ・プロセスが及ぼした影響	12
第3章 アジア・太平洋地域における大学間交流等拡大に関するニーズ－8カ国調査の概要－	
1. タイ	22
2. シンガポール	29
3. マレーシア	34
4. 中国	40
5. 韓国	51
6. インドネシア	63
7. ベトナム	71
8. フィリピン	77
9. 多国間ネットワーク・機関	85
第4章 アジア・太平洋地域における学生等移動に伴う経済効果の分析	88
第5章 アジア・太平洋地域における大学間交流等拡大の方策	98

はじめに

本報告書は、平成20年度文部科学省・先導的・大学改革推進委託事業(第2次公募)「テーマ:アジア・太平洋地域における大学間交流等の拡大に関する調査研究」の下、平成20年10月～平成21年3月の期間に行ったアジア8カ国(タイ、シンガポール、マレーシア、中国、韓国、インドネシア、ベトナム、フィリピン)及び欧州4カ国(ドイツ、ベルギー、フランス、イギリス)における調査結果を踏まえた最終報告書である。

調査研究に当たっては、(1)アジア・太平洋地域の国際交流機関・ネットワーク、各国の高等教育政策機関等を訪問し、域内の学生等交流における既存の枠組の機能、成果、課題、将来計画及び域外との交流ニーズの把握、及びそれを踏まえた(2)アジア・太平洋地域において大学間交流等を拡大する計画を実施する場合の実施方法・体制、資金、人的資源等で課題となる事項の洗い出し及び解決策について分析を進める、という2点を主な目的とした。

調査に際しては、文部科学省を始め、各国の日本大使館など国内外の多くの方々に多大なご協力のご指導をいただいた。お名前をすべて記すことはできないが、この場をお借りして深く感謝を申し上げたい。また、韓国追加調査にご協力いただいた東京女学館大学国際教養学部専任講師白雪花氏に対しても厚く御礼を申し上げたい。

研究体制

研究代表者:	上別府隆男	東京女学館大学国際教養学部教授
研究メンバー:	秋庭裕子	一橋大学大学院商学研究科専任講師
(五十音順)	太田 浩	一橋大学国際戦略本部准教授
	五味政信	一橋大学留学生センター教授
	黄 福涛	広島大学高等教育研究開発センター教授
	船津秀樹	小樽商科大学商学部経済学科教授
	堀田泰司	広島大学留学生センター准教授

執筆担当者

- 第1章 エラスムス計画及びエラスムス・ムンデウス計画の展開、成果及び課題(堀田)
- 第2章 欧州高等教育の質保証にエラスムス及びポローニャ・プロセスが及ぼした影響(堀田)
- 第3章 アジア・太平洋地域における大学間交流等拡大に関するニーズ—8カ国調査の概要—
1. タイ(上別府・堀田)
 2. シンガポール(上別府・堀田)
 3. マレーシア(上別府・堀田)
 4. 中国(黄)
 5. 韓国(太田)
 6. インドネシア(秋庭)

7. ベトナム(五味・太田)

8. フィリピン(船津)

9. 多国間ネットワーク・機関(上別府・堀田)

第4章 アジア・太平洋地域における学生等移動に伴う経済効果の分析(船津)

第5章 アジア・太平洋地域における大学間交流等拡大の方策(上別府・堀田)